

藤嶺藤沢高校だより

勇猛精進
質実剛健

藤嶺学園藤沢高等学校 〒251-0001 藤沢市西富 1-7-1
TEL 0466-23-3150 <https://www.tohrei-fujisawa.ed.jp/>
(文責：高校教頭 林 学)

2022年5月9日(月)発行

心と命を感じる講演会

去る5月6日(金)に高1高入生を対象に「心と命を感じる講演会」が実施されました。講師の篠原宏明氏は、自己紹介の部分で、2010年に次男真矢(まさや)君(当時14歳)を「いじめ」と「いじり」によって亡くした「自死遺族」だとおっしゃっていました。真矢君は「友だちのことをいじめから護れなかった」



という内容の遺書を残して自死をしました。親として、子どもを亡くすということがどれほどの悲しみと苦しみか、ましてや自死ということになれば、その心中は察するに余りあるものです。したがって、篠原氏がおっしゃるところの「自死遺族」の方が、講演活動をするというのは非常な精神的困難が伴うことだと想像できます。それ故、篠原氏の「覚悟と使命感」は並々ならぬものがあるのです。在校生の多くが篠原氏の講演を聴いたことがあります。篠原氏の「心」を是非とも正面から受けとめ、「いじめ」も「いじり」もない環境を作ってほしいと思います。

【高校1年生「校内1泊合宿」円満成就】

本校の新入生オリエンテーション行事である「校内1泊合宿」が4/13(水)～4/20(水)まで行われました。この行事は、本来は校内に1泊して行われますが、コロナ禍でありますので「日帰り」で実施されました。しかしながら、本校OBである曹洞宗僧侶大塚達雄老師による手を尽くしたご指導と、それを受けとめ、受け入れ、我がものにしようとする生徒諸君の心が一つとなった瞬間は、とても素晴らしい時間と空間になりました。高1生一人一人が、この行事を今後の学校生活に生かしてほしいと切に願います。

以下に生徒の皆さんと保護者の方々の感想を一部抜粋して記します。

<p>[生徒]</p> <p>○一泊合宿がどれだけ素晴らしい体験だったかと感化されると同時に、いかに自分がだらしなかったのかを思い知りました。</p> <p>○一泊合宿で食事作法を教わり私はプライベートの夜の食事の際でも 以前より心がけるようになりました。</p> <p>○自分の限界や壁に近づいたとき、自分自身と心の中で話し合いどうすれば乗り越えられるかと考えることで、厳しくて辛そうな表情も顔から消え法話や作法に集中することが出来ました。</p>	<p>[保護者]</p> <p>○「自分に厳しく」ということを親から言われるのではなく、老師からお話しいただいたことで子供達も心に刺さったと話しておりました。</p> <p>○物事の本質を見ることで、自分の低レベルな価値基準を超えることができれば、人生の多くの時間が豊かになるだろうと思いました。</p> <p>○私自身も多くの教えを賜り、忙しさに忙殺され忘れていた感謝の気持ちや人としてのあるべき道について、改めて考えさせられる良い機会となりました。</p>
---	--

【教士七段】

本校保健体育科樋口崇先生は、主に一貫生の剣道の授業を担当し、また、剣道部顧問として部活指導も行っています。その樋口先生が先頃「教士」の称号を取得しました。剣道は、段級位とともに「称号」というものがあります。「称号」は、「指導力や識見、人格などを備えた、剣道人としての完成度を示すもの」です。「称号」には、「錬士」→「教士」→「範士」があり、教士になるには「七段位」を取得していないといけないそうです。「教士」は、「剣理に熟達し、識見優秀なる者」ということです。樋口先生には、今後も剣の道で精進し、八段そして「範士」を目指してほしいと思います。

【5月の主な行事予定】

6	金	第1回全統共通テスト模試(高3), 心と命を感じる講演会(高1高入生)	
9	月	(前期教育実習生打合せ)	高1・2 春季 勉強会
10	火	高2 修養(5・6限), 中間試験1週間前	
11	水	高1 修養(5・6限)	
13	金	開校記念講演会(本校卒業生「ニシダ」氏来校 / 5・6限)	
17	火	中間試験①	
18	水	中間試験②	
19	木	中間試験③	
20	金	中間試験④, 健康診断日 ※9:30登校	
21	土	前期教育実習生受け入れ開始	
23	月	エアコンフィルター清掃日	
26	木	スポーツテスト(全日)	